学校番号	1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）金属加工の実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

旋盤・フライス盤・溶接に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、計画・適切な加工及び成果を的確に表現する力を養えたか。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工作機械や溶接作業に関する基礎的な知識と技術の習得を行い、実際に応用・活用できる能力と態度を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】
安全に作業するために、自己で判断することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
工作機械や溶接の技能習得に向けて、主体的に学習に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	旋盤・フライス盤の操作法・作業法を理解し、正確に作業できる技能を習得している。安全作業について十分な知識を習得している。 ガス溶接に関する操作法・作業法を理解し、安全作業について十分な知識を習得している。	旋盤・フライス盤の操作法・作業法を身につけ、実際に作業を行うことができている。同様にガス溶接作業においても、操作法・作業法を身につけ、実際に作業を行うことができている。 作業の危険性を理解したうえで、安全に作業を行うための行動をとることができる。	他者の作業を観察・相互評価するなどして、知識・技能の習得・向上をめざして、主体的に学習することができている。 自ら加工工程を考え、計画的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	安全作業	安全作業について	a:安全に作業を行う上で、必要となることを理解している。 b:安全に作業をするために、自己で判断することができる。 c:安全に作業を行うために主体的に学習に取り組んでいる。	考査	考査	学習態度 レポート
	旋盤	装置の名称・役割 操作法 各種旋削 作品の発表・評価	a:旋盤作業に必要な知識・技能を習得している。 b:安全かつ正確な作業を、自己で判断して行うことができる。 c:知識・技能の習得・向上をめざして、主体的に学習に取り組んでいる。	作業 レポート 製作課題	作業 レポート 製作課題	取組態度 レポート 製作課題
	フライス盤	装置の名称・役割 操作法 各種切削 作品の発表・評価	a:フライス盤作業に必要な知識・技能を習得している。 b:安全かつ正確な作業を、自己で判断して行うことができる。 c:知識・技能の習得・向上をめざして、主体的に学習に取り組んでいる。	作業 レポート 製作課題	作業 レポート 製作課題	取組態度 レポート 製作課題
後期	溶接	装置の名称・役割 操作法 突合せ溶接 溶断 品質検査	a:ガス溶接に必要な知識・技能を習得している。 b:安全かつ正確な作業を、自己で判断して行うことができる。 c:知識・技能の習得・向上をめざして、主体的に学習に取り組んでいる。	作業 レポート 製作課題	作業 レポート 製作課題	作業 レポート 製作課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度